



あなたの今日と明日を支える(社)神奈川健生 「月報」平成24年3月号

平成24年3月19日 発行(通156号)
一般社団法人
神奈川健康生きがづくりアドバイザー協議会
略称:(社)神奈川健生

今月の話題

「先人から学ぶ人間学」

川崎ネット 高橋信行



平成の元号を名付られた、昭和の東洋哲学者の故安岡正篤先生が一日一言として述べられた「一燈照隅・萬燈遍照」に触れましたのは私が勤務しています会社の社長から60才を記念して色紙を書いて頂いた時です。

その意味について調べてみますと下記の通り記述されています。

各々がそれぞれ一燈となって、一隅を照らす、すなわち自分が存在する片隅を照らす、なんで片隅を照らすなど、心細いことを言われるのかと、大光明を放つとってもらいどころです。と考える人がいる。しかし聞くだけでは愉快だが人間みずから大光明を放つことなどなかなかできるものではない。

つまらない人間も「世界のため、人類のため」などと言います。あれは寝言と変わらない、寝言よりもっと悪い、なにも内容が無い、自分自身のためのも、親兄弟のためにも、他人のためにもろくなことができない人間が、どうして世界のため、人類のための、なんで大口がきけるか。

それよりも自分が居るその場所を照らす、これは絶対に必要なことで、またできることだ、真実なことだ、片隅を照らす、この一燈が真燈になると「萬燈遍照」になる、こういう同志が十万・百万となれば日本の環境も変わるでしょうと記述されています。

勤務している会社で、ある面では新分野部分を担当していることから、日々の業務を通じて、会社のその分野での社会的信頼の構築がテーマでした。

日本国中、北は北海道の稚内から南は沖縄の石垣まで97のすべての事業所を数回訪問して、まずは人との意思疎通が大切と考え微力ながら、理論指導よりも実務実践の行動指導を重視する等で、「一燈照隅・萬燈遍照」について私なりにでの理解でした。

今、一方では論語を通じて人としての考え方を学ぶサークルが各地区に多くあると聞いています。論語は四世紀後半応神天皇の十六年に、百濟から王仁博士によって「論語」十卷等が伝えられたと記録にありますが、今から1,600年も前のものが、なぜ今この時代に学びの場がとれます。

論語は孔子とその弟子達や要人達との間で交わされた対話録であります。孔子は若い時には大変貧しく生きがためになんでもやったことから多芸多能になったと述懐しています。

多くの論語がありますが今回記載するものは「論語 衛霊公第八一二十四」を取上げてみました。

「子貢問うて曰わく、一言にして以て終身これを行うべき者ありや。子曰わく、其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ」です。

解説致しますと「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」という一文を聞いたことがある人は多いと思います、この有名な言葉は、孔子の弟子である子貢の問いかけに対して孔子が答えた言葉です。

人が生きていく上で心に留めておくべき言葉を一言で表して欲しいとの問いかけは難問であります。孔子はそれを「恕」と答えています。

広辞苑によれば「恕」という言葉の意味は「おもいやり」「同情心」「ゆるすこと」となっています。孔子が語る「恕」とは、生来、人が自然に備えている思いやりの心のことと理解してよいでしょう、孔子はさらに「自分がして欲しくないことは、他の人にしてはいけません」と理解しやすい言葉で思いやりについて表現しています。

安岡正篤先生の言われた、片隅を照らす一燈が真燈になり「萬燈遍照」になるような日々の実践行動や、孔子の論語での他人への思いやりの心の持ち方は(社)神奈川健生の活動目的である「健康生きがづくり」への実践的な支援活動を通じて一步一步近づいていくのではと感じ、先人たちの考えのように、「人に対する思いやりの心」を持ち人に喜ばれると言うことは大勢の先人の基本的な人間学と同じ考え方の息吹が私たち健生のアドバイザーの活動目的と共鳴しているのかと感じた次第であります。

以上

(社)神奈川健生総会は6月2日です

これまで定例総会は4月に開催されていましたが、今年は1か月以上遅い6月2日(土)に開催されます。唯一1年に1回、全会員が一堂に会する最高決議の場です。是非今から予定表に書き入れておいてください。



平成 23 年度 第 12 回 (24 年 3 月) 定例理事会議事録

日時・場所： 平成 24 年 3 月 12 日 (月) 18 : 10 ~ 20 : 20 県民センター 705 号室

出席者： 井口、梶田、深谷、内海、杉山、二瓶、大熊、小泉、河原 (小林代理)、高橋、長崎、竹内、隅田、吉田修一郎、奈良部、伴、三浦、山崎、亘、田原、吉田隆幸、(敬称略)

欠席者： 大橋

司会： 梶田副会長

- 会長挨拶： 1、2/16、横浜市市民後見人養成スタートアップ講演会に多くの神奈川健生 AD の皆さんと一緒に参加した。大変良く出来たものとの印象を受けたが、受講対象者に 25 歳 ~ 70 歳未満の年齢制限に懸念を持った。横浜モデルが今後他都市に大きな影響を与えることが予想され、その後の折衝で、この点について何らかの緩和措置が取られるものと信じている。
- 2、3/8、神奈川県主催の「企業 NPO のパートナーシップフォーラム 2012」に参加した。企業も NPO も地域も元気になる協働のコツを開いた。企業の社会的貢献活動への取り組みによる、企業イメージアップの気運の盛り上がりを感じた。
- 3、3/10 ~ 11、東日本大震災復興支援イベントを都筑区で開催した。つづき楽校主催であったが、多くのボランティア団体、沢山の AD の方々の応援で数百人規模の参加者で盛り上がった。地元 AD がその中心的な役割を果たし、認知度も向上したと思う。3/12 の神奈川新聞に写真入りで掲載された。

議 事 概 要

1、会費未納入者 (添付資料 1)

高橋理事より、未納入者の会費納入状況の結果説明があった。

2、サークル活動等ブログの作成状況 (添付資料 2)

大熊担当理事より、各事業、各サークルのブログ作成現状及び作成、担当の説明があった。

3、「事業」の定義の件 (添付資料 3)

深谷事務局長より添付資料に基づき説明があった。又下記意見があった。

- ・ 事業とは健生会則の目的のうち、8 項を除く行為、及び目的を資するための収益行為をいう。
- ・ 「収益事業」という文言は法人税法上の収益事業と混同されやすい、慎重に扱うべきである。
- ・ 「法人税法上の収益事業」としては 34 業種が特定されており、行政との委託事業は請負業に該当するか検証が必要と思う。NW のポール販売は物品販売に該当するが、現在は問題ないと思う。
- 「事業」にからむ文の表現方法を検討項目とする。目的 (3 条) の内容表現も検討していく。

4、定款及び会則の改正案 (添付資料 4)

深谷事務局長より「理事の任期」に関し、定款、会則の改正したい旨の説明があった。

Q : 文章の表現がわかりづらい、もっとシンプルな表現方法はないか。

A : 表現については検討して次回提案する。(意味は理解出来た)

5、総会議題案及び資料作成者 (添付資料 5)

深谷事務局長より添付資料に基づき説明があり、了承された。

6、資料作成スケジュール (添付資料 6)

深谷事務局長添付資料に基づき説明があり、了承された。

- ・ 第一回締め切りは 3 月 29 日です。ワードで作成し添付メールで私に送って下さい。

7、理事任期状況及び理事候補推薦の件 (添付資料 7)

深谷事務局長より添付資料に基づき、理事会推薦等説明があった。

- ・ 会員 10 名推薦で理事に立候補した場合、理事枠 20 名以内であれば、総会にはかかる。

8、県民センター会議室予約の件 (添付資料 8)

伴担当理事より添付資料に基づき説明があり、下記事項が了承された。

- ・ 各位に事務局への「予約の連絡」周知を行う。以後、連絡のない予約は取り消す。
- ・ 理事会会議室は担当者が、毎月 1 日朝起床時 (7 ~ 8 時迄) に予約出来た部屋で OK とする。
- ・ AD 養成講座の教室予約は事務局と講師担当で話し合い調整する。

連 絡 ・ 報 告 事 項

1. 健生クラブ（添付資料 9,10,11,12,13）内海主担当理事
 - ・ 現在会員は 166 名です。新規会員（21 名）は殆どロコミです。募集に協力をお願いしたい。
2. 地区ネット活動（添付資料 14）：奈良部主担当理事
 - ・ 4 月 27 日、川崎地区ネットの大橋理事がラジオに出演します（介護予防について）。
3. 新規活動・事業委員会（添付資料 15）：井口会長・・・添付資料に基づき詳細な説明があった。
4. 講師活動：梶田主担当理事・・・24 年度 AD 養成講座受講生は現在 17 名となりました。
5. かながわの旧街道を歩く会（添付資料 16）：井口会長・・・3/24 第 1 回目が東京駅からスタートです。
6. ノルディックウォーキング：梶田担当理事
 - ・ 3 月 18 日、小田急唐木田で今期最後の NWC を実地します。是非参加して下さい。
 - ・ 新年度のイベント計画及び運営体制が内定した。年 5 回開催で、第 1 回は 5/26 開催します。
7. 研修事業：山崎主担当理事・・・3/14 で今年度全ての研修事業が終了します。
8. サークル活動：深谷事務局長・・・特にありません。
9. 女性交流会：（添付資料 17）三浦主担当理事・・・「伊豆高原の旅のお知らせ」チラシをご覧ください。
10. 財団情報（添付資料 18）：大熊担当理事・・・第 3 回「生きがい学会」が 10/20 長崎で開催される。
11. 事務局報告：深谷事務局長、伴理事（添付資料 19、20）より添付資料の説明があった。

以上

（文責：深谷、記録：伴）

24 年度第 1 回定例理事会は 24 年 4 月 9 日（月）18 時 10 分～ 705 号室

会 員 投 稿

「街づくりは人づくり、健康づくり」

戸塚地区ネット（柏尾サロン） 上田隆一郎

健康指向の昨今、歩くことは良いことだと多くの人が十分認識しています。私は、さらに仲間と一緒におしゃべりと好奇心をくすぐりながらのウォーキングだと心と身体の健康にとっても良いと考えています。健生アドバイザー仲間と共に旧東海道を訪ねる「観歩会」を数年、昨年から鎌倉古道を探索する「健街道」の案内をしています。この街道歩きのはじめは「風景街道」です。住民や NPO や企業が地域の主体となって町内会・自治会、行政、大学・学識経験者と協働するパートナーシップのことで、母体は道を舞台につながる地域ならではの、風景、歴史、文化の資源を生かした広義の“まちづくり”に取り組む国土交通省の「日本風景街道」です。風景街道を積極的に支援するため全国を 10 ブロックの風景街道地方協議会に分け、それぞれに窓口が設置されています。私が関わっていますのは関東第 16 号に登録されました「東海道風景街道」で、横浜の 3 つの宿場活動が主体です。東海道周辺に住んでいる方々に愛され、訪れる皆様はその地の人たちと対話、ふれあいが出来、居心地の良い景観を維持する。そのような街づくりをすることが大きな目的で、県内東海道各宿場も活動が盛んで相互に連携しています。

昨秋、試行的に仕掛けましたイベントをご紹介します。神奈川宿、保土ヶ谷宿、戸塚宿の 3 宿場活動が合同で、2 か月間の東海道よこはま三宿ウォーキング「通行手形」企画です。ウォーキング参加者の好奇心を掻き立て、温もりと心地よさを感じていただくことを根底にしたアイデアで、ネーミングは道中旅人に必携がヒントです。手形は特殊紙の折りたたみ式で史跡や立ち寄り処をマップにし、参加協力企業、お店、施設のサービスと特徴を載せました。スタンプラリーも加え、所定のスタンプで完歩の意味を持たせ景品付きとしました。PR は新聞折込、ポスター、チラシ、神奈川新聞とタウン誌の記事広告などと、参加協力企業、店舗、施設従事者のロコミでした。

イベントの一部ですが、①横浜歴史博物館にて特別展示企画「保土ヶ谷宿展」と「横浜東海道三宿の今と昔」の電子紙芝居。史跡ポイントを昔版は広重の浮世絵、現在版は写真で、一部近世の写真をスキャンし無声映画時代の活弁よろしくスライドショーにしました。②原宿の寂れた商店街活性化のため和菓子老舗の東海道原宿最中（特別価格）を買って食べながら、戸塚に伝わる伝説の紙芝居を見たり、戸塚宿パネル展で往時の懐かしい話をする、お休み処を近くの地域ケアプラザに協力していただきました。

結果はウォーク参加者の評判は良く、特に歩き慣れたマニアックな方は熱がこもった対話がありました、次への更なる努力注文も頂きました。残念なのはまだ集客力不足で目標に及びませんでした。しかし協力参加のお店、企業からはお客さんと沢山コミュニケーションできたことが喜ばれ、次回の参加希望を得ました。スーパー、コンビニや量販店では味わえない、人々とのつながりが少しでも街の中にできたことが何よりの収穫でした。今秋に拡大規模で実施する準備に入り、参加商店からロコミで商店街への展開、世代間交流のイベント、グレードポイント導入などアイデアが膨らんでいて楽しみです。 以上

事業活動のお知らせ

1) 平成24年2月度 <かながわ健生クラブからのお知らせ> H24.3.07内海 孝夫

<健生クラブ主要トピックス>

*平成24年度の会員数は現在迄160名の状況

【24/4月度・活動のご案内】 ～皆さまのご参加をお待ちしております～

詳細は健生クラブのホームページ <http://kanagawa-kensei-club.jimdo.com> からご覧下さい

開催日	4月12日(水)	4月24日(火)	4月6日(金)	
テーマ	北鎌倉・里山を歩く (～台峯緑地・鎌倉中央公園・葛原岡神社～)	秋谷立石海岸から 佐島漁港へ	横浜駅西口の山手を 散策(お花見・スポーツ施設・防災・歴史)	
集合場合 集合時間	JR横須賀線 北鎌倉駅、交番前 10時	JR横須賀線 逗子駅前 9時30分	横浜市営地下鉄 三ツ沢上町駅改札口前 10時	
担当地区	三浦	三浦	横浜中央	
連絡先	野田 裕治 0467-60-1336	野田 裕治 0467-60-1336	木村 和男 045-714-5146	
*参加希望される方は上記の連絡先担当者に10日前までにお電話下さい				

以上

2) 講師活動からの案内

①アドバイザー養成講座受講生募集のお知らせ

平成24年4月～5月開催のアドバイザー養成講座の受講生を募集しています。

詳細はホームページ、配布のチラシをご覧ください。

ご友人、知人の方をはじめ受講生募集にご協力をお願いします。

申込み先: 梶田洋治 FAX046-254-9831、 E-mail:kajita430118y@yahoo.co.jp

3) ノルディックウォーキングの案内

平成24年度は5月を皮切りに年間5回を予定しています。

詳細が決まり次第都度ご案内します。

多数の皆さんの参加をよろしくお願いします。

4) 健街道本年の予定

今年は鎌倉街道下道を歩きます。3月24日東京駅出発を皮切りに10月27日鶴岡八幡宮到着まで合計7回です。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

第1回 江戸城～大井町(3月24日)の詳細は別添ご案内を参照ください。





地区ネットからのお知らせ

2012年3月12日
主担当理事 奈良部 勉

2012年2月度の地区ネット活動におけるトピックス等お知らせします。

川崎	<p>定例会 2月15日(水) 18時30分～20時30分 武蔵中原・エポック中原 <u>参加者12名</u></p> <p>1、4月27日(金) FM川崎ラジオ出演“介護予防について” NW・健生クラブの紹介実施打ち合わせ</p> <p>2、3月11日(日) 川崎地区ネット NW ウォーキング同好会実施打ち合わせ・「宮前区内を歩く」</p> <p>3、3月3日(土) 13時30分～ “地域での絆づくりについて考える” 麻生区役所にて講演</p> <p>次回定例会 3月21日(水) 18:30から20時30分 武蔵中原・エポック中原ボランティア室</p>
相鉄沿線	<p>定例会 2月25(土) 17:00～19:00 鶴ヶ峰 みなくる <u>参加者6名</u></p> <p>1. 健生クラブ：雨天中止の129回木曜会の反省・来年度の松田、小田原の下見について等。</p> <p>2. 行政との取り組み：現状報告と今後の対応、瀬谷区の取り組みについて。</p> <p>3. 定例会議の進め方について：全員が情報を発表する時間を設ける事で情報交換と意思疎通を図り、魅力ある定例会議を目指す。</p> <p>次回定例会 3月24日(土) 17:00～19:00 鶴ヶ峰 みなくる</p>
横浜北	<p>定例会 2月22日(水) 18:00～20:00 山内地区センター <u>参加者25名</u></p> <p>相互研鑽 茂田芳夫さんが「美しく齢を重ねたい」とのテーマで定年を期にはじめた9年間で延べ2.5万人の地域活動と100歳を目指し美しく齢をとるために努力されている内容のお話がありました。定例会議後、女性会員は「アンジュ」で男性は「どんだん亭」で懇親会を行いました。</p> <p>次回定例会 3月28日(水) 18:00から 山内地区センター</p>
横浜南	<p>定例会 2月22日(水) 18:00～19:20 港南台地区センター <u>参加者5名</u></p> <p>理事会と健生クラブ関連報告のあと、4月3日開催予定のノルディックウォーキング体験会の詳細について打ち合わせた。また、健生クラブの活性化策についてタウン誌の活用や現役世代を対象とした土日開催の意義や可能性について意見交換した。</p> <p>次回定例会 3月28日(水) 18:00から 港南台地区センター</p>
横浜戸塚	<p>定例会 2月22日(水) 18:30～20:00 戸塚地区センター <u>参加者5名</u></p> <p>理事会報告：会長の挨拶と活動、各サークルの活動状況、女性交流会の伊豆高原一泊旅行のお誘い等。健生クラブ：3月23日実施の「象の鼻…」下見について打ち合わせた。24年度会員の集まりが厳しく(現192⇒138名)理事会での議論の報告と改善策について話し合った。災害時避難所体験の紹介。</p> <p>次回定例会 3月28日(水) 18:30から 戸塚地区センター</p>
三浦	<p>定例会 2月23日(木) 15:45～17:30 養老乃瀧(川崎) <u>参加者11名</u></p> <p>味の素川崎工場見学後、居酒屋「養老乃瀧」で定例会開催、湘南の亘さんが工場見学を含め特別参加。</p> <p>今月17日急逝された樋口さんのご冥福を祈り黙とう。同氏責任者であった3月13日火曜会「鎌倉北部の秘境・・・」の対応打合せ。次回定例会までにH24年度活動計画につき意見集約をすることとした。</p> <p>次回定例会 3月22日(木) 18:00より 鎌倉市福祉センター</p>
湘南	<p>定例会 2月21日(火) 18:00～20:00 <u>参加者14名</u></p> <p>1、湘南地区ネット24年度役員人事の決定と24年度の取り組み提案</p> <p>2. 相互研鑽発表 吉田明さん 「免疫力を高めるために」 加齢とともに免疫力は低下、その免疫力を高め維持する方法と実践例の披露。</p> <p>次回定例会 3月21日(水) 18:00～20:00 茅ヶ崎市民ギャラリー</p>
県央	<p>定例会 2月21日(火) 18:00より 相模大野南公民館 <u>参加者11名</u></p> <p>1. 理事会報告：行政との協業についての研修会が盛況、健生クラブの会員の減少対策等</p> <p>2. 県央地区ネットの新年度の年間企画検討、地区担当理事、会計、健生クラブ担当の決定</p> <p>3. 4月開始のAD養成講座受講予定の川谷、山崎両氏がオブザーバー出席</p> <p>次回定例会 3月20日(火) 18:00一 厚木 YCC</p>

横浜中央	定例会	H24年2月16日(木) 17:00~18:50 県民センター 602号室	参加者9名
	I. 自己研鑽/相互研鑽: 江間誠司氏『私のAD活動(初期段階)について』【“ものづくり” ⇒“生きがいつくり”へ】。II. 理事会報告。III. 健生クラブ: 平成23年度木曜会の実施確認、平成 24年度金曜会計画書確認、同木曜会下見日程及び担当者確認。IV. その他: 大橋欣三氏ご逝去のお知らせ (児玉氏より)、平成24年度定例会第2金曜日に変更の件。		
	次回定例会	H24年3月22日(木) 17:00~ 県民センター602号室	

サークル活動のお知らせ

主担当理事 深谷 武彦 電話 080-5439-5165
 会員相互の勉強会、趣味の会としてサークル活動を実施しています。



各サークル活動の概要は以下の通りです。

A) なんでもみんな勉強会

世話役: 七海耕一、前田ちひろ、小杉真希子、
 都築 潔 TEL 046-873-1518
 4月11日(水) 18:00~20:00 604号室
 「歌って回想・笑って体操・学んで健康」
 講師: 谷上 鎮隆氏

C) 美食倶楽部 世話人代表 井上亜土実

事務局: 阿部匡宏 (電話・fax) 045-592-0243
 次回予定: 平成24年5月24日(木)
 懐石料理「無門庵」・花が咲き乱れる昭和記念公園

E) 「布絵を楽しむ会」 世話役 清水昭子

Tel & Fax: 045-821-4730
 ◆毎月第3水曜日 13:00~17:00
 4月11日(水) 県民センター707号室

G) コントラクトブリッジを楽しむ会

世話役: 寺内顕正 Tel・fax: 045-714-3120
 次回予定 4月7日(土)、21日(土)
 県民センター708号室、703号室 18.00~21.00

I) 女性交流会

世話役: 三浦紀子、小泉かよ tel/fax:045-953-2798 メール: no3matato@77.catv-yokohama.ne.jp
 4月5日、6日(1泊2日)・・・伊豆高原のお花見の旅、11時45分伊豆高原駅前集合。
 宿泊: ホテルアンビエント伊豆高原、参加費: 11,000円。詳細は案内チラシをご覧ください。

J) 健生グリーンゴルフ会

世話役 松島 誠一 (電話) 0467-23-3950
 布井邦昭 0467-58-7895、七海耕一 046-873-1518

第30回健生グリーンゴルフ会ご案内

日時: 2012年5月17日(木)08:34~09:26 インスタート8組
 場所: 鎌倉パブリックゴルフ場 〒247-0052 鎌倉市今泉5-1003
 申し込み&問合わせは smatsushima03@ybb.ne.jp 宛にお願い致します。(先着32名まで)

K) 「カラオケを楽しむ会」 世話役: 田原睦夫 TEL 045-382-7680 mtawara@jupiter.ocn.ne.jp

- ◆「カラオケを楽しむ会」への会員募集をしております。
- ◆定例会は原則毎月(8月、1月は除く)第1金曜日、第3月曜日の15:00~17:00
- ◆東急ホテル並びの「BEST HIT」(am. pmのビル)です。
- ◆費用はカラオケ2時間+ソフトドリンク付き500円、生ビール中ジョッキ付き600円です。

平成 24年4月は6日と16日です

東日本被災小中学校への激励コンサート

北地区ネット：都築 潔

3.11 今迄平穏で幸せであった「気仙沼」の街へ恐ろしい津波が押し寄せ、一瞬のうちに濁流に飲み込まれた。◆建物はことごとく流され、逃げ惑う人、海から陸へ流された漁船は無惨な姿になった。◆あの悪夢から早や9か月が過ぎた

昨年末、私達音楽団は被災した「小原木中学校」に降り立った。

◆私の運営する音楽事務所で企画した「慰問、激励コンサート」の一行20名であった。この企画を快く受けて頂いたのは「日本合唱協会」（日本のトップレベルのプロ合唱団）でした。



◆コンサート会場には、制服姿の中学生が整然と座って合唱団を待っていた。生徒の半分は家を流され、30%の生徒が肉親を失っていると聞いた。でも彼らはそんなつらい様子を見せずコンサートに聞き入ってくれた。

◆終演後、生徒代表の挨拶で「音楽は、荒れてバラバラになりそうな気持ちをひとつにしてくれる強いものを感じました」という言葉を聞いて安堵し今回の企画の成果を嬉しく思った。

◆2日間に5校を慰問するハードスケジュールだったが、学校全体が立ち上がろうとしている姿を感じ我々も勇気もらった。

この子供たちがいつの日か気仙沼の街をきっと見事によみがえさせる事を信じつつこの地を後にした。

写真説明

上：訪問先での演奏風景

右：コンサートを聴く子供達

◆訪問先の学校（中学校は気仙沼市立）

- ①小原木中学校 ②気仙沼中学校
- ③面瀬中学校 ④階上中学校
- ⑤奥州市立真城小学校



平成24年2月度 新規活動・事業委員会議事録（サマリー）

日時・場所：平成24年2月20日(月) 18:10~19:50 県民センター705号室

報告・討議内容

1. 社会貢献活動部会（井口会長）

2月16日(木)「横浜市市民後見人養成スタートアップ講演会」からの報告。

- ① 横浜市18区内、H24年度に3区を先行して行う。

座学(10月~)、実習(H25年度)、とし、順次地区を拡大する。

- ② 受講生対象者が25歳~70歳未満条項があり、健全会員にとって問題がある。

本件、井口会長が健康福祉課課長補佐に改善をお願いすることになった。

2. 超高齢未来検討部会（吉田委員）

- ① 勉強会を1/21(健康・医療・介護分野)、2/4(地域・家族分野)、2/18(社会参加・就労支援)を行った。

- ② これまでの討議内容を「超高齢未来勉強会報告書」としてまとめ、会員に報告する。

併せて年誌「とまり木」の特集に報告書概要を記載する。

3. ビジョン検討部会（竹内委員）

2/13に開催した第5回部会からの報告。

収益事業企画案について検討し、8項目のうちから下記3項目を新規（事）委員会に事業活動として取り組むことを提案する。

- ・自分史作りのお手伝い
- ・福祉有償移動サービス
- ・障害者ガイドボランティア

*ビジョン検討部会から上記3事業の提案を受け、新規活動・事業委員会として討議の結果、下記の如く対応することになった。

- ① 福祉有償移動サービス、障害者ガイドボランティア。
リスク回避の点からと需要増大が見込める迄、当面「NPO 横浜移動サービス協議会」の傘下として実施する。
- ② 自分史作りのお手伝い。
収益確保の一手段として健全会員の持つ多彩な特技を生かすビジネスとして、会員の参加募集をしていく形での事業計画を作成する。
- ③ 3事業について、ビジョン検討部会で事業計画及び収益事業としての健全への上納金割合を立案し、新規（事）委員会の承認を経て、事業化を3月度理事会に提案し承認を得ることとする。

以上

次回開催：3月19日（月）18：10～ かながわ県民センター 705号室

事務局だより

★★お知らせ★★



1. 会員動向

会員数

総数； 224名（内女性59名）（先月比：3名減）

（内訳）

	会員数	ML加入者	e 配信加入者	ヤマト便対象者
人数	224	156	166	58
(%)	(100)	(69.4)	(74.1)	(25.9)

★事務局の連絡先★



一般社団法人 神奈川健康生きがづくりアドバイザー協議会

事務局： 深谷 武彦 気付

〒224-0024 横浜市都筑区東山田町 1413

電話：080-5439-5165